

2. 学事運営組織

2.1 学事運営組織と役割

学事運営の組織構成と各委員会等の役割を示します。

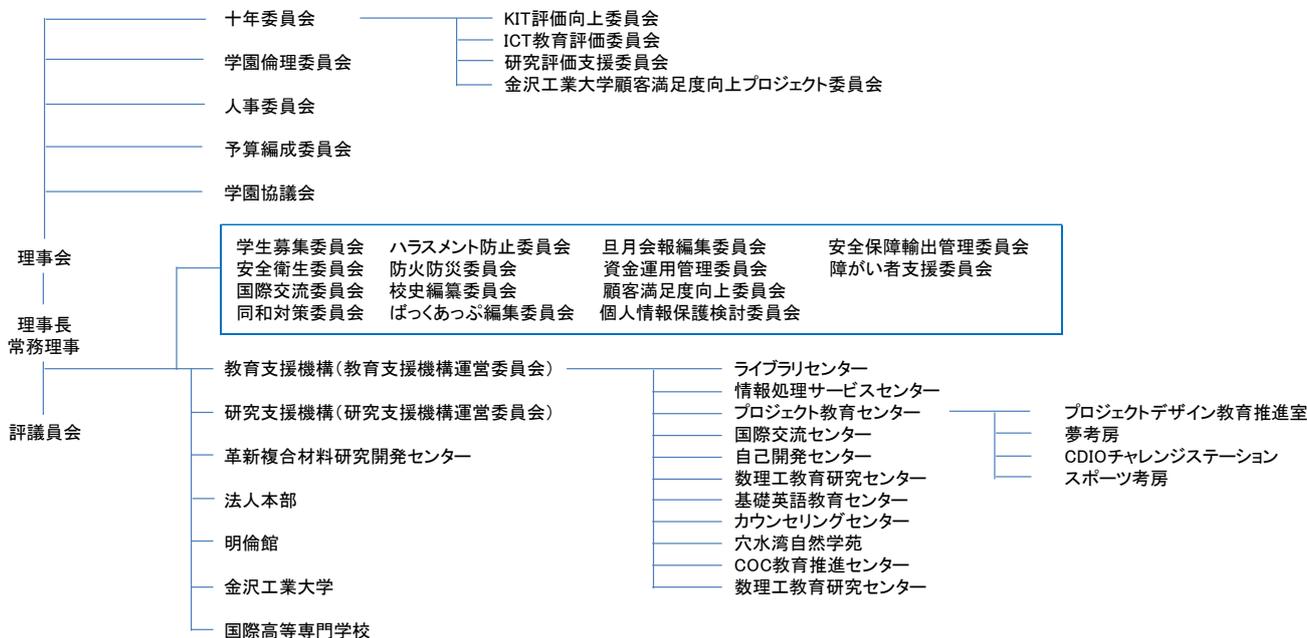
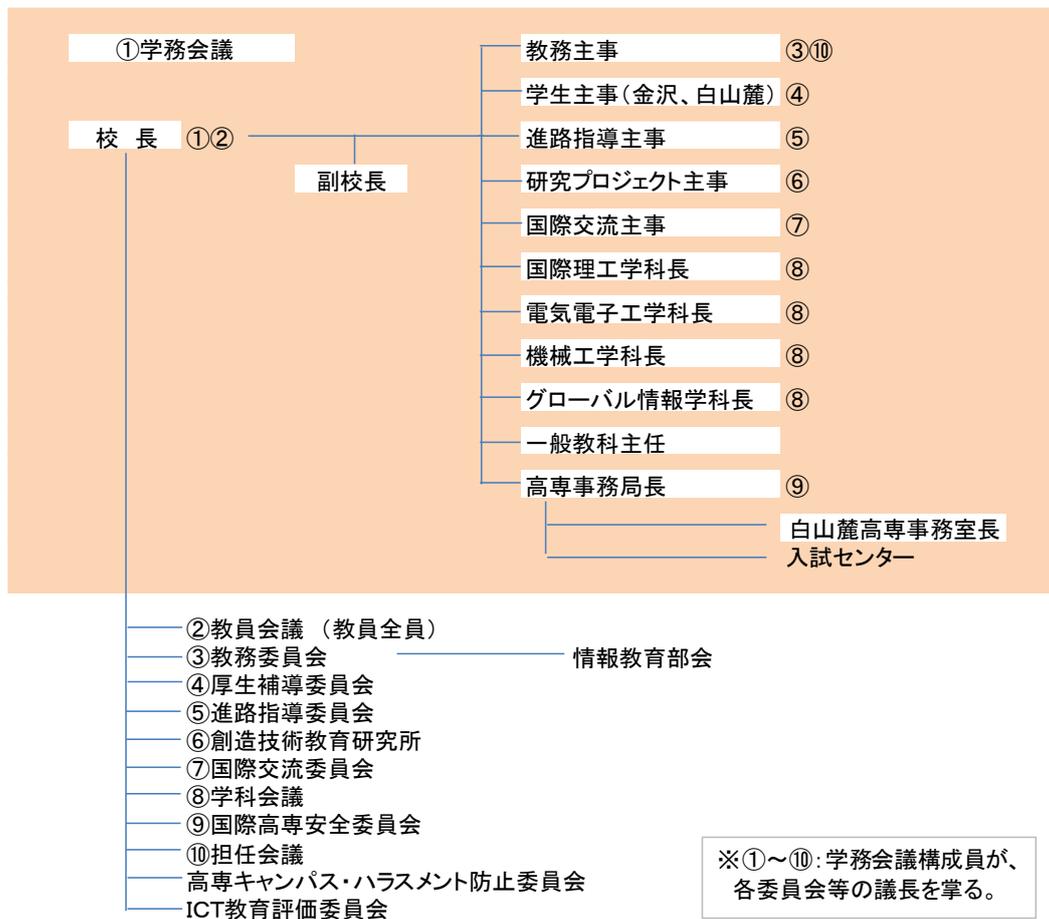


図 2 - 1 学園組織図



※①～⑩: 学務会議構成員が、各委員会等の議長を掌る。

図 2 - 2 高専組織図

1. 学務会議 (図2-2 ①)

校長、副校長、教務主事、学生主事(金沢、白山麓)、進路指導主事、研究プロジェクト主事、国際交流主事、国際理工学科長、電気電子工学科長、機械工学科長、グローバル情報学科長、一般教科主任、高専事務局長、白山麓高専事務室長により構成され、校長が議長となり、教育研究の質的向上に関する事項、学則その他規則に関する事項、教育課程編成に関する事項、学籍に関する事項、厚生補導に関する事項など、学事全般について審議します。

2. 教務委員会 (図2-2 ③)

教務主事が議長となり、教務運営の方針及び教育実施状況の把握に関する事項について審議します。

3. 厚生補導委員会 (図2-2 ④)

学生主事が議長となり、学生の厚生補導に関する事項について審議します。

4. 進路指導委員会 (図2-2 ⑤)

進路指導主事が議長となり、進路指導の方針及び進路指導状況の把握に関する事項について審議すると共に学生の進路に関する支援を行ないます。

2.2 教育支援・学習支援組織と機能

学生の学習や生活支援を行なう組織として、また、教育の充実に向けた支援組織として、各種の支援センターを設けています。

各センターの学生支援活動は次のとおりです。

《金沢キャンパス》

① ライブラリーセンター



ライブラリーセンターは、教室や実験室で得た知識をさらに深める場として開館した新しい概念の図書館で、「学習支援」「研究支援」「卒業生支援」「地域の情報センター」としての役割を担っています。利用時間は年間340日、平日は22時まで開館しており、就職や授業と連携した文書添削指導の機能を有するライティングセンター、専門基礎学力の増進プログラムを運営する学習支援デスク、マルチメディア技術の修得を目的としたマルチメディア考房を有しています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/kitle/> で紹介しています。

② 情報処理サービスセンター



情報処理サービスセンターは、コンピュータ、ネットワーク等のITによる教育研究の支援及びIT関連教育の推進を担っています。本校では、全学生にノートブック型パソコンを貸与するなど、IT教育の充実に努めています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/dpc/> で紹介しています。

③ 自己開発センター



自己開発センターは、資格取得による学生の総合的な能力向上の推進を担っており、各種の資格試験の情報提供をはじめ、資格取得のための講習会も多数開催しています。また、既に資格を取得した学生が、今から資格取得を目指す学生を教える、「学生と学生の学び合いの場」も運営しています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/shikaku/> で紹介しています。

④ プロジェクト教育センター 夢考房



プロジェクト教育センターは、ものづくり機能を有する夢考房と、健康管理や体力の向上の機能を有するスポーツ考房から成り、夢考房は年間 300 日、平日は 21 時まで、土日は 17 時まで開館しており、ものづくりのための安全や装置機器の取扱講習会を年間 345 回実施すると共に学生プロジェクトである夢考房プロジェクトを支援しています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/yumekobo/>で紹介しています。

⑤ イノベーション&デザインスタジオ



イノベーション&デザインスタジオは、「グローバル人材の育成」と「イノベーション力の育成」をキーワードに、授業・授業外の予習復習・課外教育プログラムの充実に向けた新しい形の教室環境です。平日は 21 時まで開館しており、アクティブラーニングや学生間のチームラーニングなどで活用できる学習環境です。

⑥ Challenge Lab



Challenge Lab は分野を超えて人と知識がつながり、未来の社会に必要とされる新しい技術や価値を創出する場として平成 29 年 7 月に金沢工業大学扇が丘キャンパスに開設しました。本校は今年度より、学科の枠を超えて卒業研究テーマに取り組む「ICT クラスタール研究室」が始めました。クラスタール研究室は、本校の機械工学科、電気電子工学科、グローバル情報学科を対象とした「ロボコン」と、金沢工業大学で学科を超えて活動している「初心者が楽しめるチェアスキーの設計と開発」、「スマートファクトリー：椅子再生工場を支える技術の提案と空間設計」、「石橋の科学的解明と石文化の継承方策の提案」で構成されています。

⑦ 学生ステーション



学生ステーションは、学年・学科の異なる学生同士が、共通の話題で対話し、自由な活動を通じて自己成長を行う場です。平日は、21 時までオープンしており、学生主体の交流イベント、講習会の実施を行なっています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/gstation/>で紹介しています。

⑧ d-studio



金沢キャンパス 2 階にあります。学生達がプログラミングのスキルだけでなく、モノづくりに直結する IT スキルを身につけさせるため、デジタルファブリケーションを体験出来る場となっています。部屋には、レーザーカッターや 3D プリンターを設置しています。

⑨ 自習室



自習には、個人で自習する場合と、複数人もしくはチームで自習する形態があります。本学には個人利用の自習室に加えて、チームでも使用できる自習室として、いつでも課外学習に取り組めるよう、235 席を有する 365 日 24 時間オープンの自習室があります。

⑩ 穴水湾自然学苑



穴水湾自然学苑は、扇が丘から北北東へおよそ 100 キロ、車で約 2 時間の能登半島 国定公園の景勝地、穴水町由比ヶ丘にあります。ここには鉄筋 4 階建、収容人数約 150 名の本館をはじめ、体育館、グラウンド、専用のヨットハーバーがあり、ハーバーには、艇庫、調査研究船、外洋クルーザー、ヨットなどが揃っています。電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科 3 年次の「人間と自然Ⅱ」を開講し、各年次で 2 泊 3 日の合宿形式による集中授業を行なっています。

⑪ 天池自然学苑



天池自然学苑は、本学園のメインキャンパスである金沢キャンパスからバスでおよそ 25 分の金沢市南東部の丘陵地に位置し、体育館、サッカー場、ラグビー場、野球場、ゴルフ練習場などがあり、学生の課外活動に使用しています。

⑫ 池の平セミナーハウス



池の平セミナーハウスは、本学園のメインキャンパスである扇が丘キャンパスから自動車約 3 時間の、新潟県の妙高高原にある収容人数 60 名の施設です。ここでは、電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科 4 年次の「人間と自然Ⅲ」を開講し、2 泊 3 日の合宿形式による集中授業を行なっています。

《白山麓キャンパス》

① 学生寮



1・2 年次が共同生活を送る学生寮は、1 ユニットに 6 人が生活します。6 人それぞれがユニット内での役割を果たし、グローバル社会を生きる健やかで強靱な人間性を育みます。詳細は <https://www.ict-kanazawa.ac.jp/campuslife/accommodation/> で紹介しています。

② Maker Studio



Maker Studio は、学生や教職員の自主的な「ものづくり」を支援する設備群の総称あり、Workshop(工作機械室)、Workspace(ものづくりスペース)、Lecture room (レクチャールーム)、Project booth(プロジェクトブース)による制作環境です。学生達は社会実装に向けたプロトタイプをすぐ作成できるよう、レーザーカッターをはじめとした機械や道具が備わっています。

③ Library and Work Commons / Living Commons



1・2 年次学生の学習・生活の中心的空间となっています。金沢工業大学扇が丘キャンパスのライブラリーセンターのサテライト図書館としての機能はもちろんのこと、少人数教育、個人学習、グループ学習など様々な目的で使用しています。